

●宮城県白石市



明治2年、旧仙台藩白石城主の片倉家一門が開拓の礎を入れ、現在の登別市の礎を築いたことに始まる。以来、両市の歴史的背景と市民団体などの交流により、姉妹都市の提携をした。

現在は、産業・経済・文化・福祉・スポーツなどを通して友好・親善を図っている。

また、両市の小・中学生が学校間交流を行い、お互いのまちの歴史を学び交流の輪を広げている。

●中国広東省広州市

平成12年、広州市で行った登別観光プロモーションが、平成14年“友好交流促進都市”の盟約を締結することに発展した。平成16年には、市民訪問団が盟約締結3周年記念の植樹を行なった。それ以来、良好な交流が観光、経済、文化などの分野で続けられている。



●デンマーク/ファボー・ミッドフュン市  
(旧リング市・ウイスリング市)



平成2年、登別マリンパーク・ニクス城が、ファボー・ミッドフュン市にあるイーエスコ城を模して建てられたことを契機に、交流が始まった。登別市は中学生を派遣するとともに、市民団体が受け入れる研修生の活動を支援している。平成19年6月、訪問団が現地を訪れ、友好都市提携を結んだ。

●アメリカ合衆国自治領/サイパン市

市民の相互交流及び文化、農業交流を推進するために、平成18年11月、サイパン市において市民訪問団が見守る中「友好都市締結」を結ぶ。平成20年2月、ホップウッド中学校から初めて訪問団が来登。厳寒の中、湯まつりや雪遊びを楽しんだ。



国際化時代を迎えた21世紀、歴史的、文化的にかわりのある都市との交流は、私たちの住むまちの魅力を再発見する機会でもあり、海外の都市との交流は、異なる生活や文化に接し、国際理解を深め、国際感覚を身につける重要な要素でもある。

登別市は、宮城県白石市と姉妹都市提携、中国広東省広州市と友好交流促進都市の盟約を締結。また、『登別マリンパークニクス』のオープンを契機にデンマークのファボー・ミッドフュン市と、さらにアメリカ合衆国自治領サイパン市と『友好都市締結』し、交流が始まった。

まちを、海を、  
国境を超えて、  
結ばれる友情、  
広がる交流の輪

